

「世界史 A」単元の指導と評価計画

(北海道伊達緑丘高等学校 寺沢英幸・岸百合子)

【単元の目標と評価の観点】

単元名	結び付く世界と近世の日本—世界の一体化— (全8時間)			
単元の目標	ヨーロッパ・アジア・アメリカなど、諸地域との接触・交流による世界の一体化の動きと近世の日本の対応について把握させる。 【単元の中心となる問い】「世界の一体化」(異なる地域同士の接触と交流)は何をもたらしたか<自由か制限か>			
評価の観点	関心・意欲・態度 (学びに向かう力・人間性)	思考・判断・表現 (思考力・判断力・表現力)	資料活用 の技能	知識・理解 (知識・技能)
評価規準	世界の一体化への動きと近世の日本の対応について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	世界の一体化への動きと近世の日本の対応について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の一体化への動きと近世の対応に関する様々な資料から有用な情報を選択し、図表にまとめる活動を通して、空間的なつながりに着目しながら整理している。	世界の一体化への動きと近世の日本の対応についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

【単元の指導と評価計画】

次程	学習内容	評価の観点				評価方法等
		関	思	技	知	
第1次 本時	【ねらい】地球を一周する交易ネットワークの概要から、世界の一体化(世界と日本のつながり)について理解し、関心を高めさせる。	【問い】なぜ、石見銀山はヨーロッパにも知られていたのだろうか				○ 世界の一体化について理解し、異地域・異文化の接触がもたらした影響について課題意識を高めている。(ワークシート)
第2次	【ねらい】東アジアにおける明を中心とする冊封体制の確立について、中国・朝鮮・琉球と日本との関係に関連付けて捉えさせる。	【問い】なぜ、明は足利義満に貿易を許可したのだろうか				○ 14~15世紀における東アジアの動向について、各国相互の関係などから捉え、その特色についてまとめている。(ワークシート)
第3次	【ねらい】アジア貿易へのヨーロッパ商人の参入が招いた影響について、朱印船貿易や鎖国など日本の動向と関連付けて考えさせる。	【問い】なぜ、清は貿易港を広州1港のみに限定したのか—なぜ江戸幕府は鎖国したか—				○ アジア貿易へのヨーロッパ商人の参入とその影響について、清と日本の動向から比較し、まとめている。(ワークシート)
第4次	【ねらい】自由貿易と制限貿易におけるメリット・デメリットについて、現代的な課題を踏まえながら考えさせる。	【問い】「制限貿易(海禁・鎖国)」と「自由貿易」ではどちらがよいだろうか				○ ミニディベートを通して、現代の諸課題への関心を高めるとともに、自分や他者の多様な意見から考えを深めている。(ワークシート、参加態度)
第5次	【ねらい】ヨーロッパとアメリカ大陸との出会いが両地域及び世界に与えた影響について多面的・多角的に捉えさせる。	【問い】「コロンブスの交換」は何をもたらしたか				○ ヨーロッパ世界とアメリカ大陸・日本との接触がもたらした影響について関心を高め、課題を見出している。(ワークシート)
第6次	【ねらい】ヨーロッパにおけるルネサンスと宗教改革の動向とその背景を捉えさせ、世界観・人間観の変容について理解させる。	【問い】なぜカトリックは否定されたのだろうか				○ ルネサンスや宗教改革が発生した背景や歴史的意義について理解している。(ワークシート)
第7次	【ねらい】ヨーロッパにおける主権国家体制の成立と旧教・新教間の対立を取り上げ、諸国家間や日本との関係について捉えさせる。	【問い】旧教・新教の対立はヨーロッパに何をもたらしたか				○ 16~17世紀におけるヨーロッパ諸国の動向について、宗教対立・勢力均衡などの側面から図表にまとめている。(ワークシート)
第8次	【ねらい】日本の為政者がキリスト布教に消極的であった要因について考えさせ、自由と制限について現代的な課題を踏まえながら捉えさせる。	【問い】なぜ、キリスト教は日本の権力者に認められなかったのだろうか				○ 信教の自由・制限が歴史的にどのような対立や差別・迫害を生み出してきたか、現代的な課題を踏まえながら、その要因と解決に向けて、考えを深めている。(ワークシート)